

「みんなが活躍!!」

未来につながるもとみや創生」

市では、昨年10月に「住みたいふるさともとみや創生総合戦略」を策定しました。

平成28年度は、ふるさと本宮創生を目指して総合戦略を中心に施策展開する第一歩の年です。

この戦略では、基本目標として、

「①もとみやの魅力を高め住みたくなるまちをつくる」「②市民の希望をかなえ安心で豊かな暮らしを実現する」「③絆で結び活気と笑顔あふれる住みよいまちをつくる」の3本の柱を掲げました。

1つ目の「もとみやの魅力を高め住みたくなるまちをつくる」では、移住・定住促進、魅力発信、生活に不可欠な雇用の創出とニーズマッチを掲げています。

2つ目の「市民の希望をかなえ安心で豊かな暮らしを実現する」では、子どもから高齢者まで、ライフステージを通じた切れ目のない支援を行い、全ての世代が健やかに笑顔で暮らし、さらには若者世代が安心して結婚・出産・子育てできるまちづくりを目指すこととしています。

3つ目の「絆で結び活気と笑顔あふれる住みよいまちをつくる」

る」では、人と人、地域と地域、都市と都市のつながりを強化し、地域の機能の維持・活性化を図るとともに、本宮市のコンパクトで便利であるという特性を最大限に生かすまちづくりを進めることとしています。

震災からの復興は着実に進んでいます。風評の払拭、健康管理、放射線のモニタリングなど、継続していかなければならない課題も多く残されています。また、今後起こりうる大規模災害への備えとして、東日本大震災の経験を教訓に防災・減災の取り組みを強化する必要があります。

この先、これらの課題を解決し、将来にわたり健やかで賑わいのある住みよいまちをつくるためには、市民の皆さんと市がひとつになつて進める「協働のまちづくり」が何よりも重要です。

今年度は、これらを念頭に、世代や性別を問わず誰もがいきいきと笑顔で活躍し、住みよいもとみやを次代に引き継いでいけるよう、「みんなが活躍!!未来につながるもとみや創生」をスローガンに事業を進めていきます。



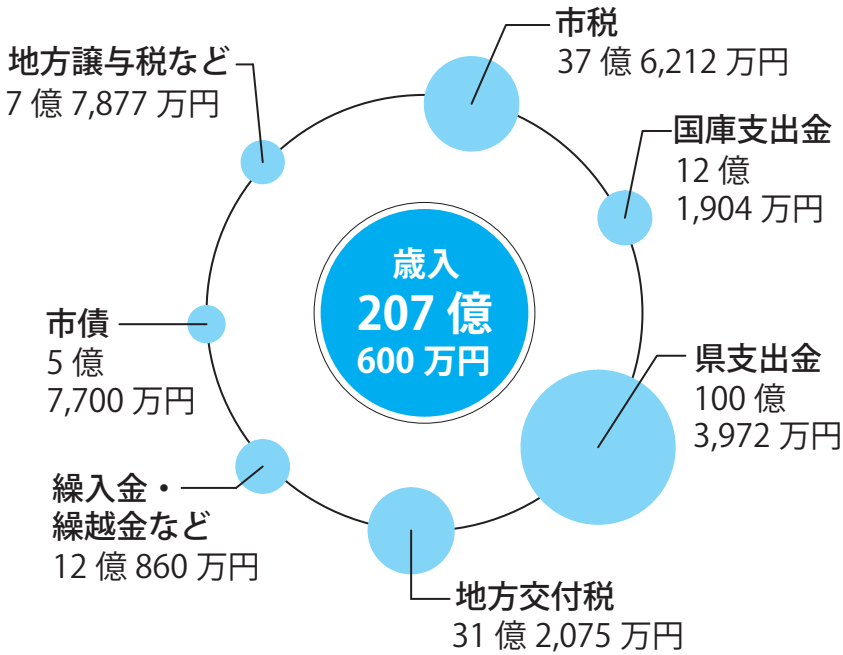
まちがもっとよくなるために、わたしにできること。



平成 28 年度当初

予 算

今年度の一般会計総額は、207 億 600 万円で、そのうち一番大きな割合を占めるのは衛生費の住宅除染にかかる経費約 92 億 3,000 万円です。この経費は全額県支出金でまかなわれます。



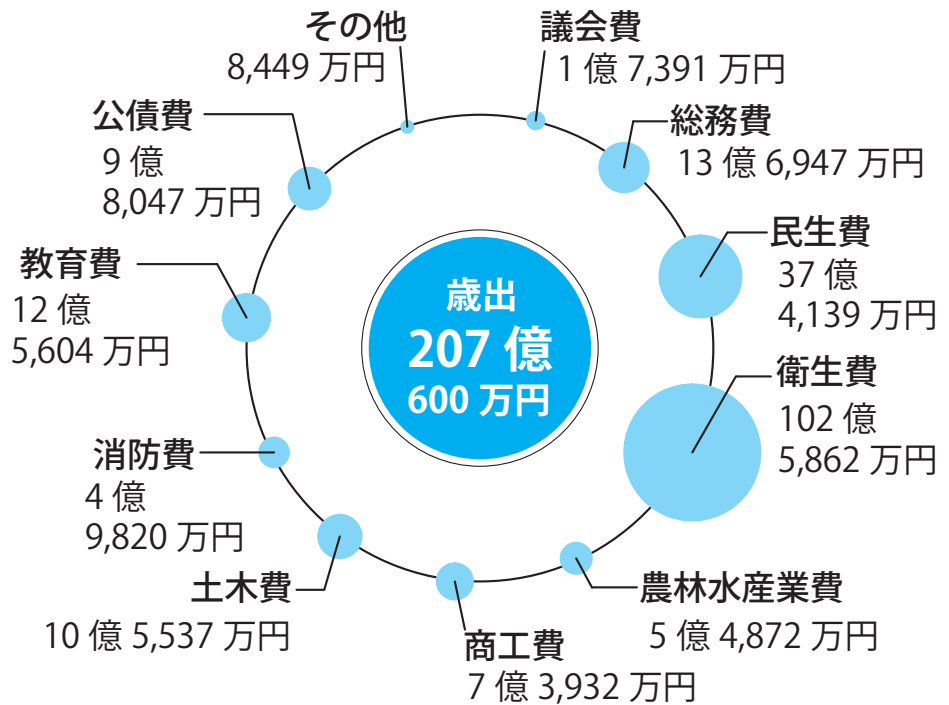
歳出の主なもの

民生費は、高齢者福祉、保育所運営、障がい者福祉など福祉のための経費があります。高齢者福祉では、老朽化が著しい「老人憩の家」の建て替えに向けた設計などの準備を進め、早期整備を目指します。

土木費では、本宮駅東西自由通路等の実施設計のほか、安達太良ドリームラインや生活道路の改良工事を行い、生活環境における交通アクセスの改善を図ります。

農林水産業費では、認定農業者育成支援事業補助金で認定農業者の経営支援を行うほか、米の全量全袋検査をはじめ、農産物の放射性物質検査を継続し、風評被害の払拭に努めます。

教育費では、「夢の教室」（キャリア教育推進事業）を通じて、働くことについて考える機会を作り、児童生徒の勤労観や職業観の醸成を図るなど、教育環境の充実に努めます。



特別会計・企業会計

会計名	予算額	会計名	予算額
国民健康保険	35 億 7,987 万円	農業集落排水事業	5,790 万円
後期高齢者医療	2 億 7,393 万円	工業用地造成事業	5 億 9,425 万円
介護保険	24 億 1,390 万円	工業用地	1 億 1,462 万円
公共下水道事業	7 億 5,326 万円	資産運用事業	
合計		77 億 8,773 万円	

会計名	予算額
水道事業	9 億 3,635 万円